

[様式2]

御提案書	
技術分野	③港湾内の海水の浄化
御提案件名	<p>【対策1】 網状構造の透水型フェンスを多重展張して海域の秩序を保ち、階層的構造で接触・付着沈殿を行う浄化法。</p> <p>【付加技術】 凝集剤と固体触媒(濁質を含む)で高密度凝集したマイクロブロックをフェンスに付着させて汚染物質を吸着する港湾内の海水浄化法。</p>
御提案者	日本ソリッド株式会社
<p>【対策1】</p> <p><u>特 徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年的に付着する貝類・海藻類等の肥厚した連続壁面構造体が自然形成され、通水面に接触・付着・濾過機能を有する巨大な「多機能バイオ・フェンス」となる。 ・フェンスの透水壁面は通水を可能とした付着ろ過作用を得る。 ・放流排出口に鉄系調合型凝集剤や吸着剤を連続又は断続的に適時注入し、マイクロブロックを本透水型フェンスに付着させ、吸着効果を持たせたフェンスとして継続的浄化を維持する。(【付加技術】) ・護岸内を静穏域にする消波ブロック・スリットケーソン等を配設して港湾内の波浪を軽減させ、巨大貯留浄化を可能とする。 <p><u>長期使用を可能とする構造と材質</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐候性硬質樹脂大型バランスフロート。 ・フロート下部は繰り返し疲労を吸収する可堯性テンションゴムベルト。 ・カーテン部は透水性二層網構造。 ・係留索はタイヤ緩衝材でフェンスの衝撃を出来るだけ緩和。 ・メンテナンスは金属部ボルト・シャックル等錆による交換程度。(SUS316で解消) <p>【付加技術】</p> <p>放流排出口近傍に、鉄系調合型凝集剤と固体粒子を混合注入し、攪拌してフェンス表面にマイクロブロックを固着させ、物理的付着との併用で徐濁効果を高める。</p> <p>(港湾余水処理で実績)</p>	
<p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 <p>本提案は、港湾内の浚渫埋立工事の余水処理・湖沼・河川等の水質浄化で多くの実績がある。同フェンスは港湾海域で、現在7年継続して使用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化に向けた課題・留意点 ・その他 <p>特許出願中</p>	